

わたしたちの奄美、
わたしたちで守ろう。

Let's protect Amami's native species by ourselves.

》 外来種から鹿児島県の生物多様性を守るために

鹿児島県は南北 600km にも及ぶ県土や 3 つの気候帯を有しています。また、渡瀬線を挟んだ 2 つの生物地理区に属しており、鹿児島県の多くの島々には、固有種、希少種が息息・生育し、独特な生態系が存在します。このため、動植物が持ち込まれることで、生態系に影響を及ぼす侵略的外来種となる場合があります。

世界自然遺産登録を目指す奄美大島や徳之島のある奄美群島でも、外来種が野生化し定着することで、生態系への被害やそのおそれが生じています。

これらのことを十分に理解し、安易に島へ動植物を持ち込むことのないようにしましょう。

外来種被害予防3原則

入れない

悪影響を及ぼすおそれのある
外来種を自然分布域から
非分布域へ「入れない」。



捨てない

飼養・栽培している
外来種を適切に管理し、
「捨てない」。



拡げない

既に野外にいる外来種を
他地域に「拡げない」。



》 外来種は悪者なの？

外来種は、意図的又は非意図的に自然分布域外に持ち込まれた生物です。被害を受ける在来種同様、生態系や人の生活環境への被害を防止するために防除される侵略的外来種もまた「被害者」です。そのことを理解し、自らが新たな外来種問題の原因者とならないよう十分に気をつけましょう。

本県の外来種の詳しい情報については！ [鹿児島県 外来種](#) 🔍検索

鹿児島県の外来種の詳しい情報については、鹿児島県のホームページをご覧ください。

URL <http://www.pref.kagoshima.jp/kurashi-kankyo/kankyo/yasei/gairai/index.html>



奄美群島にお住まいの方向け セイタカアワダチソウ 防除マニュアル

→ セイタカアワダチソウは鹿児島県に影響を及ぼしており、防除対策について検討が必要な種とする「一般防除種」として選定されています。



わたしたちの奄美、
わたしたちで守ろう。

Let's protect Amami's native species by ourselves.



セイタカアワダチソウってこんな植物



4月頃のセイタカアワダチソウ



クローン

地下茎

セイタカアワダチソウ

キク科 アキノキリンソウ属 ▶ 北アメリカ原産
 学名 : *Solidago altissima*
 環境省カテゴリー : 重点対策外来種
 鹿児島県カテゴリー : 一般防除種

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
芽生え												
開花												
結実												
クローン繁殖												
刈り取り												
抜き取り												

特徴 キク科の多年生草本で、春から秋にかけて成長し、高さ1～2.5mになります。夏の終わり頃から茎の先端に黄色の花を多数咲かせます。秋には綿毛のついた果実(タネ)をつけます。冬にはロゼットという地面に葉を円盤状に広げた状態になります。

葉 葉は長さ5～15cm、幅1～2.5cmで、付き方は1枚の葉を交互に出す互生です。形は披針形で表面はざらざらします。



根 地下茎と呼ばれる茎が地下にあります。

繁殖 セイタカアワダチソウは多年草で、タネとクローンで繁殖します。タネは動物や風などで散布されて広がります。地下茎からクローンで繁殖します。

セイタカアワダチソウによる影響

大型で成長が早く、周囲の植物の成長を阻害する物質が枯れ葉から出するため、スキヤチガヤ等の在来種を排除して置き換わるおそれがあります。



セイタカアワダチソウの防除方法

ここを
チェック!

主な生育地 荒地、休耕地や道端

刈り取り

または

抜き取り

時期 ● タネをつける前の春～夏

時期 ● タネをつける前の春～夏

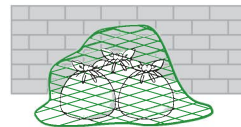
除去方法



地下茎やタネが飛散ないように刈り取り、厚手のビニール袋に詰める

残った地下茎から再生するため 年2回程度行う

廃棄方法



燃えるゴミにだす

※詳しくは各自治体のゴミの収集・分別ルールをご確認ください。

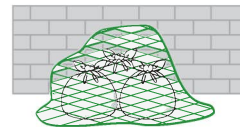
除去方法



地下茎に再生能力があるため、地下茎を残さないように抜き取り、厚手のビニール袋に詰める

地下茎を少しも残さないように 丁寧に抜く

廃棄方法



燃えるゴミにだす

※詳しくは各自治体のゴミの収集・分別ルールをご確認ください。

根絶までの流れ

駆除を行った場所を確認し、発芽・再生が確認されれば、再度駆除を行いましょう。確認されない場合も、土の中にあるタネや地下茎から発芽・再生する可能性があるため、数年間は確認を続けましよう。

よく似た在来種

シマコガネギク

絶滅危惧種Ⅱ類
 セイタカアワダチソウより大きな黄色い花が咲く。草丈15～70cmの多年草。



シマコガネギク



セイタカアワダチソウ

間違えないように
気をつけてください

